

# 上田市教育委員会 2月定例会会議録

## 1 日 時

平成27年2月16日（月） 午後3時1分から午後4時23分まで

## 2 場 所

上田駅前ビルパレオ5階 上田市教育委員会 第一会議室

## 3 出席者

### ○ 委 員

|          |       |
|----------|-------|
| 委 員 長    | 城下 敦子 |
| 委員長職務代理者 | 小市 正輝 |
| 委 員      | 山崎 順子 |
| 委 員      | 寺島 滋  |
| 教 育 長    | 小山 壽一 |

### ○ 説 明 員

西入教育次長、浪方教育参事、齋藤教育総務課長、倉島学校教育課長、岩倉生涯学習課長、宮崎人権同和教育政策幹、浅野文化振興課長、滝沢スポーツ推進課長、柳沢真田地域教育事務所長、児玉武石地域教育事務所長、矢島丸子学校給食センター所長、神林中央公民館長、倉澤塩田公民館長、山崎上田図書館長

### ○ 傍 聴 者

1 名

## 1 あいさつ

## 2 〈協議事項〉

### (1) 附属機関に関する条例の一部改正について（学校教育課）

#### ○ 資料1により倉島学校教育課長説明（要旨）

平成25年9月に学校教育法施行令が改正され施行された。今までは就学基準に該当する障害のある子どもは原則、特別支援学校に就学するものであった。それが、障害の状態、専門家の見解、本人や保護者の希望など総合的な観点から就学先を決定する仕組みとなった。また、その後の一貫した支援についても助言を行うという観点から機能の拡充を図るとともに、「教育支援委員会」といった名称とすることが適当とされた。

- ・名称変更 「上田市心身障害児就学指導委員会」を「上田市教育支援委員会」に改める。
- ・任務変更 「心身障害児の就学指導に関し、教育委員会の諮問に応じ、調査審議を行うこと」を、「障害のある幼児、児童生徒の就学相談及び一貫した教育支援に関し、教育委員会の諮問に応じ、調査審議を行うこと」に改める。
- ・施行期日 平成27年4月1日から施行する。

#### ○ 質疑

##### 小市委員

これまでは就学にあたっての判定が主であったが、これからはその子を一貫して支援、助言をしていくということである。どのような体制をとるのかある程度考えておかなければならないが、今までの就学指導委員会はそのような大きな目的を持っていなかったのではないか。例えば、上田市の場合、教育相談所、発達支援センターなどがあるが、それらときちんとリンクしていかないと一貫してとか手厚くなどそれ以降にわたっても支援していくことにはならない。その辺の見通しはどのように考えているのか。

##### 倉島学校教育課長

相談機関とも連携をしていくことは大事である。一度判断をしてその就学先に子どもを出したが、1年、2年経ったときに本当にその子のためになっているのか、将来に向かってこれでいいのかどうかについて、保護者が疑問に思うことがあるだろうし、学校としても感じることもあると思う。そういった場合については、今までは、一度判断が出たということでそのままになってしまう可能性があったが、今後は改めて教育支援委員会に諮り、相談してこのままでいいのか、学校や保護者の希望について相談するような形が文科省の考え方の趣旨に沿ってくるのではないかと。相談件数は多くなってくるかと思うが、やはり将来の子どもたちにとって一番いい方法をとるよう柔軟に対応していき、そのような方向で進めていきたいと考えている。

##### 城下委員長

改めてというタイミングも、お子さんや保護者からの声を待つのではなく、委員会のほうから定期的に声掛けをしていくという方向性でやっていただければと思う。当事者の方から意見や相談を受け身で待っているのではなく委員会のほうからうまくシステムを作っていただき改めて定期的にどうかという動きを見せていただければよりいいのではないかと。

##### 倉島学校教育課長

全員についてどうかというのは非常に難しい。ただ、就学指導委員会のなかでも、非常に迷っている案件はあるので、どちらがいいのか迷っている案件については、柔軟に対応していく。すべての案件については難しい。

#### 小山教育長

従来の就学指導委員会だけではなく、発達相談センターや教育相談所など様々な機関が連携する。今も、学校教育課と教育相談所、それから子ども未来部、福祉の関係と1か月に1回、協議をしている。それは、特別支援が必要な子どもについての支援について考えているのではなく、もっと一般的に支援が必要な子どもについてどのように支援したらいいのかという相談をしている。今後についても、教育支援委員会という名前になったからすべてこの教育支援委員会で、扱うということではなく、それぞれの部署がやっていて、なおかつできるだけ連携を図っていくということになっていく。子ども未来部で「つなぐ」という厚い冊子をつくったが、乳幼児期から18歳までどのような支援をしてきたのかという累積ができるような冊子である。基本的には保護者の方が持っているものであるが、これまでこのような支援を受けてきたということを学校の先生にいつでも提示できるようなものがつくられている。これを上手に使っていくことが今後必要になってくるだろう。あるいは、小学校では、特別支援が必要な一人一人の子どもについて個別の支援計画を保護者と相談しながらつくる。通常学級にいる支援を必要としている子どもたちをどう支援したらいいのか、個別の支援計画、あるいは、教育指導計画を上手に担任の間で引き継ぎ、子どもに対する支援をしていく必要がある。また、支援学級にいた子どもたちが場合によっては通常学級を主とした生活の場にしながら、支援学級に場合によっては通う。あるいは、通級指導教室も今後増えていくことが県の方針として出ている。支援学級ではなく通級指導でいいのではないかというような判断もその都度支援委員会の助言を受けながら学校としても考えていく。そのような場として使っていってもらえればよいと考えている。そのためには、学校の先生たちには、従来の就学指導委員会にも入っていたし、これからの教育支援委員会にも入ってもらう。学校の先生、校長先生、教頭先生の声も聞きながら一人一人の子どもについてそれぞれの学校で点検をしてもらい、保護者とも相談してもらう。

#### 山崎委員

就学指導委員会を見させていただいたことがある。そのなかでイメージとすれば非常に間口が広がったというか柔軟に対応してくださる教育支援委員会になったとイメージしている。就学指導委員会の皆さんに、今、教育長が言われたようなことがきちんと情報として入るのか、意識して皆さんで協議してもらえるのかというところがある。平成25年の10月に通達があり、実際に執行がされるのが今年の4月である。このタイムラグは、何か事情があるのか。

#### 倉島学校教育課長

通達が出た時点で、委員の皆さんに今後このようなやり方になると周知はさせていただいた。実際、判断のなかでも保護者はどのように考えているのか、それから担任の先生はどのように思っているのか、広く意見を総合的に出し合い、担任の先生に直接来ていただき日頃の状況なども説明していただき、また、小学校にあがったときは、保育士に現状を説明してもらいその上で判断をしていくということで、委員さんについては周知されている。名称変更については、いつまでに何をやるということをいっているわけではない。したがって、やり方事体はすでに変わってきている。平成26年度においては、長野県、長野市、東御市、

小諸市だけが名称変更をしている。そのほかについてはこの4月からが多い。変えないところもあると思うが、上田市については1年やってみて内容もそのような趣旨に変わってきているというところで4月から名称も含め移行してまいりたい。

山崎委員

実際、行っている現状にこの名称を合わせたということによいか。

倉島学校教育課長

はい。

○ 全委員 了承

## (2) 上田市教育支援プランの見直しについて（学校教育課）

○ 資料2により倉島学校教育課長説明（要旨）

今年度の見直しのポイントとして、

- ・今年度新たに課題として出てきたもの、これをどう折り込むかということ。
- ・今後、どのようなところに力をいれていけばよいか。
- ・文章校正の修正

この辺を中心に校長会、指導主事、関係課の職員の案を求め、今回の案にさせていただいた。本日、ご意見をいただいたあと、市長部局と再度調整し4月から新しい教育支援プランで進めてまいりたいと考えている。

○ 質疑

城下委員長

土曜日等の活用で、また地域の協力を得て、土曜日等を活用したスポーツ、自然観察とあるが、具体的な策は何かあるのか。

倉島学校教育課長

これについては、公民館などが力を入れており子どもたちを対象とした自然体験やあるいは、ものづくり体験、スポーツ体験など必ずしも学習に限ったことではなく、様々な体験をさせることによって子どもたちは成長するという観点から、地域の人たちの力を借りながらいろんな体験プログラムを提供してまいりたいということである。

城下委員長

具体的な策は公民館に聞けばよいか。

神林中央公民館長

今の段階で、公民館で具体的な話しをできる段階ではないので、この件についてはいろんな事例を参考にしながら考えてまいりたい。

小市委員

子どもたちの学習意欲を高めるとあるが、学習意欲を高めるという表現だとどういう学習意欲なのか。今の話しを聞いていると子どもたちに興味関心を引き起こす、自ら探究していく、実験をしてみるなど、自分自身の体をフルに活動させながら能動的に取り組んでいくの

が子どもたちの学びの意欲を高めることではないか。体験を踏まえながら興味関心を育て、自ら探究し追及していく必要をぜひ活かしていただければと思う。

城下委員長

そういった書き方に変えた方がいいということか。

小市委員

子どもたちの学習意欲とあり確かにそうであるが、もう少し直接的にいったほうがいいのではないか。

小山教育長

一般的に申し上げますと、自然体験、社会体験、豊かな体験を持っている子どもほど、学力は高い傾向にある、あるいは粘り強く勉強に取り組む傾向があるというようなことが、文科省の学力学習状況調査のなかや国立青少年教育振興機構のなかで研究成果としてある。そういう意味で豊かな体験をさせることによって学習意欲を高めることができるというのは様々な実証研究のなかでいわれている。一昨年、学力学習状況調査を集計する中で、子どもたちの体験活動が必ずしも一様ではない、つまり、子どもたちにとって豊かな体験活動ができていない家庭とあまりできていない家庭とがあることが示された。家庭の経済格差が教育格差に反映している。したがって、豊かな家庭の子どもたちには特段いいが、なかなか家庭で提供できない子どもに対しても公的な機関が自然観察や、スポーツ、社会体験、奉仕活動などの体験活動の場を提供していく必要があるのではないかとということで改めて提案されている。しかし、これまではどうかというと、例えば上田市には7つの直営の公民館があり、それぞれの分館には青少年健全育成員という方たちがいて、その青少年健全育成員の方たちが野外体験だとか自然体験の活動をこれまでもしてきてもらっている。そういう方たちと連携をしながら今後さらに行っていく。公民館はこれまでも様々な体験活動の提案をしているので従来よりもそのような意識のなかで提案をしてもらいたい。土曜日だけでなく放課後などについても、学校を活動場所として地域のボランティアの方に入ってもらい体験活動が学校でも放課後できればいいと考えている。そういう流れの中であらたに出てきたことで、今までもやってきていることでありさらに拡充していきたいということである。

寺島委員

学習意欲を高めるといことではなく、公民館の活動を含め、学習の場を提供するというほうがいいのではないか。

城下委員長

今ここで、文言の整理整頓は決めなければならないのか。

倉島学校教育課長

ご意見をいただき、参考にさせていただきたい。

寺島委員

大きな変わりはないので事務局にお任せしたい。

山崎委員

いじめ問題対策連絡協議会がつくられ動いていくということだが、これは下のほうに注釈を入れる必要はないのか。

倉島学校教育課長

私どもは普段からよく使っている言葉なので気が付かなかった。注釈を入れるようにしたい。

城下委員長

プランNO. 23で「かがやけ上田の未来っ子」の指針と、上田市子ども・子育て支援事業計画の「上田市未来っ子かがやきプラン」をそれぞれ説明していただきたい。

倉島学校教育課長

子育て支援事業計画は、現在作成中であり子ども、子育ての新計画をこの4月にスタートさせるということで作成している。その中で、子ども子育てで主には幼児期の部分が入ってくるわけだが、担当部局は子ども未来部になる。放課後児童施設についてもその中で盛り込まれてきており、今後、消費税増分を財源としながらより充実をさせていくということである。今後5年間でどんな事業を行っていくのかというような、保育園、保育所、児童館、児童クラブ、それから小学校に行かない障害のあるお子さんについてもどう対応していくのかといったことを作った計画である。こちらには学校教育関係が入っているので引用したものである。上田市次世代育成支援後期行動計画が平成22年度から26年度までということで今年度で終わり、これを引き継いだのが「上田市子ども支援事業計画」となる。内容とすれば幼児期の部分が多く、それから小学生前が対象になってくる計画である。

城下委員長

かがやけ上田の未来っ子は何か。

倉島学校教育課長

かがやけ上田の未来っ子は方針的なもので、その下に計画を作成しているという組み立てになるかと思う。

小山教育長

子ども未来部が作った「上田市未来っ子かがやきプラン」の中に教育委員会の関係部分も入っている。国から子ども子育ての新制度が出てきているのでその新制度に対応して、子ども未来部が市民アンケートをするなかでこのようなプランを作った。現在、パブリックコメントがほぼ終わったところであり、まだ正式に固まっていない。いずれ作成次第、委員の皆さんには配付させていただきたい。

城下委員長

注釈を付けるようお願いしたいのと、もう一度これを見てからの正式な確定でよいか。

倉島学校教育課長

市長部局と連名という形になるので、教育委員さんのご意見としては本日承った。これを私どもでもう一度見直しをさせていただき、市長部局の方と協議し決定させていただきたい。

- 全委員 了承

### 3 〈報告事項〉

#### (1) (仮称) 上田市通学路交通安全推進協議会設立について (教育総務課)

- 資料3により齋藤教育総務課長説明 (要旨)

平成24年に小学生の通学時の相次ぐ交通事故などを受け、通学路の緊急合同点検を行い、必要な対策について協議した。今後は、関係機関の更なる連携強化を図り、また、安全に通学ができるよう「上田市通学路交通安全プログラム」に基づき、安心して通学できる通学路の確保を図っていく。また、上田市通学路交通安全推進協議会を設置し、関係機関の連携強化を図り合同点検の実施、対策の検討及び実施、対策効果の把握など計画的かつ継続的な通学路の安全確保に向けた検討を行う。そして、協議会での検討を円滑に行うために、上田市の関係課で構成する通学路安全対策庁内連絡会 (庁内連絡会) を設置する。

- 質疑

城下委員長

箇所図と箇所一覧表は、学校のホームページにアップされるのか。

齋藤教育総務課長

現在、上田市のホームページには掲載されているが、各学校のホームページにもそれぞれこれから掲載をしていく予定である。

城下委員長

ハード的な対策になるのか。

齋藤教育総務課長

ソフト的な面もある。例えば、この道は車が多いので子どもたちに交通安全教育で、ここはこういうところに注意するなどそういったソフトの対策もある。必ずしもハードとは限らない。

- 全委員 了承

#### (2) 学校教育関係寄附の状況 (学校教育課)

- 資料4により倉島学校教育課長説明 (要旨)

個人の方から5件ご寄附をいただき、企業から1件ご寄附をいただいた。お一人には旧丸子町時代からご寄附をいただいております大変ありがたい。

- 質疑

城下委員長

ふるさと寄附金について、寄附していただいたことに対して上田市としては寄附された方の一覧は見られないのか。

倉島学校教育課長

匿名希望と書いてある方は、いただくときに公表していいか質問させていただく。公表し

でも構わないという方については広報で報告させていただいている。また、広報は上田市のホームページにもアップされている。だいたい3分の1ぐらいの方は公表は避けていただきたいということである。

○ 全委員 了承

### (3) 生涯学習シンポジウムの開催（生涯学習課）

○ 資料5により岩倉生涯学習課長説明（要旨）

平成27年3月1日（日）13時30分から16時30分まで上田駅前ビル・パレオ2階会議室で生涯学習シンポジウムが行われる。参加費は無料であり定員は100名である。第一部として基調講演「学びでつなぐ元気なまちづくり」、第二部としてパネルディスカッションが行われる。なお、基調講演の講師は安井幸次氏をお呼びしている。

○ 全委員 了承

### (4) スポーツ関係市長表敬訪問者報告（スポーツ推進課）

○ 資料6により滝沢スポーツ推進課長説明（要旨）

1月30日（金）に、第64回全国高等学校スキー大会に出場する皆さんが市長表敬訪問された。今回の大会は2月6日（金）から2月10日（火）に秋田県鹿角市で行われた。記念品は六文銭の手袋を差し上げた。

○ 質疑

城下委員

六文銭の手袋は軍手か。

滝沢スポーツ推進課長

六文銭の刺繍が入った手袋で、宣伝も兼ねている。

○ 全委員 了承

### (5) 行事共催等申請状況について（教育総務課 学校教育課 文化振興課 スポーツ推進課）

○ 質疑

城下委員長

新規の申請で、さなだスポーツクラブが本原小学校体育館で行う「冬の小学生体力UP大作戦！」はどのような内容か。

滝沢スポーツ推進課長

小学1年生から3年生が対象であり、3回連続で参加していただく形で40名ほど募集している。各日1時間程度、ボール遊びや縄跳び、鬼ごっこなどをし、体を動かすことで協調性やコミュニケーション能力を高めたり、人と人との繋がり大切さを学んだり、基礎体力をつける。体を動かす楽しさ、大切さを習得させることが目的である。

山崎委員

このような活動は、先ほどご説明いただいた上田市の教育プランの、土曜日等の活用というところにはあてはまるのか。

倉島学校教育課長

スポーツクラブとして子どもたちにどう関わっていくことについては、プラン28で、地域のスポーツ活動団体あるいは競技団体と連携をしてという部分に含まれる。個別には掲げないことをご理解いただきたい。

山崎委員

プランの中に入っているような活動であると捉えてよいか。

倉島学校教育課長

はい。

○ 全委員 了承

#### 4 〈その他〉

(1) 神林中央公民館長より公民館だより報告

○ 全委員 了承

閉会